

東京大学・農学部創立150周年記念事業関連イベント

～生きものの力で社会を変える～

第4回【社会連携リエゾンオフィス】シンポジウム・東京大学大学院農学生命科学研究科



現在、人類社会が直面する地球規模の課題解決に対しこれまでになく農学生命科学への注目と期待が高まっています。その期待に応えるべく、新産業創出のための産学連携と、知的財産管理サポート体制の強化に取り組みます。本研究科内外のステークホルダー等に対して目的達成のための総合窓口的な機能を果たす「社会連携リエゾンオフィス」が主催する、第4回目のシンポジウムを昨年度から引きつづき、企業関係者様をお招きして開催いたします。



会場参加用



ZOOM参加用

2024年 **11.27** 水 ※講演会※
15:00-18:00
※懇談会※
講演会終了後～

参加料無料

事前申込制

会場

中島董一郎記念ホール
〈東京大学・農学部弥生キャンパス
フードサイエンス棟〉

産学連携シンポジウム 企業×東京大学農学部

15:00- 開会挨拶
中嶋 康博 教授
農学生命科学研究科長

15:05- 社会連携リエゾン
オフィス長挨拶
岩田 忠久 教授
農学生命科学副研究科長
産学連携室長

15:10- 研究者特別講演
八木信行 教授
農学生命科学研究科
農学国際専攻

15:40- 若手研究者によるリレー
研究講演(10名)

16:30- <10分間休憩>
16:40- 研究者特別講演
武内ゆかり 教授
農学生命科学研究科
動物医療センター長

17:10- 若手研究者によるリレー
研究講演(9名)

17:55- 閉会挨拶
農林水産省 農林水産技術会議事務局
研究総務官 信夫 隆生 氏

終了後- 懇談会(中島董一郎記念
ホール)隣・アグリカフェ



**総勢20名の若手研究者
リレー講演!**



特別講演・講師紹介

農学生命科学研究科
動物医療センター長
武内ゆかり 教授

【動物医療センターとの社会連携や共同研究って
どういうもの?!】



特別講演・講師紹介

農学生命科学研究科
農学国際専攻
八木信行 教授

【農業と食料をめぐる国際課題：
研究者はどう対応できるのか】



【産学連携相談窓口】東京大学大学院農学生命科学研究科・社会連携リエゾンオフィス

〒113-8657 東京都文京区弥生1-1-1 (弥生キャンパス) 農学部3号館・105号室
Email: agri-shakairenkei.a@gs.mail.u-tokyo.ac.jp



社会連携リエゾンオフィス・第4回シンポジウム・リレー講演者一覧

No.	各専攻・附属施設等	職名	氏名	講演タイトル
1	水産実験所	助教	細谷 将	選抜育種と生殖工学の融合による養殖業の技術革命
2	応用生命化学専攻	准教授	田口 恵子	生体の環境応答メカニズム
3	応用生命化学専攻	准教授	小倉 由資	食の安定供給に資する天然有機化合物の合成研究
4	応用生命化学専攻	助教	加藤 由悟	生物における金属濃集と鉱物化について
5	応用生命工学専攻	助教	白石 太郎	放線菌による有用物質生産に関する研究
6	応用動物科学専攻	准教授	清川 泰志	社会行動とトブネズミ
7	獣医学専攻	准教授	米澤 智洋	犬も猫もヒトも高齢化の現代、酸化ストレスを緩和して慢性疾患と付き合う
8	獣医学専攻	助教	三原 大輝	腹膜透析に伴う腹膜劣化の治療・予防標的とモニタリング
9	森林科学専攻	助教	岩切 鮎佳	森林病理学と生態学をつなぐ-針葉樹と病原菌の関係から-
10	水圏生物科学専攻	准教授	渡邊 壮一	魚類の腸を理解して大きく元気に魚を育てる
11	アグロバイオテクノロジー研究センター	助教	水口 千穂	微生物の分解活性を一細胞レベルで評価する
12	生圏システム学専攻	准教授	瀧本 岳	捕食者による生態系サービス
13	生産・環境生物学専攻	助教	三村 真生	植物器官のサイズと数を制御する未知の物質を求めて
14	生物・環境工学専攻	助教	イジユン	換気中の温室への費用対効果の高いCO2施用法のCO2施用効率に基づく策定 (仮)
15	生物材料科学専攻	准教授	藤澤 秀次	ナノセルロースによる乳化と材料への展開
16	農学国際専攻	准教授	廣嶋 卓也	荒廃地への早生樹植林を通じた環境価値の創出
17	演習林	講師	楠本 大	樹木の防御応答やそれに関わる二次代謝産物の発現と制御に関する研究
18	演習林	特任助教	饗庭 正寛	生態系サービス供給プロセスにおける生物の役割の解明に向けて (仮)
19	アイントープ農学教育研究施設	助教	栗田 悠子	樹木の物質輸送と制御機構の解明 (仮)